



# みらいへ繋ごう！ 備えの輪プロジェクト

顧問 早川 浩之

人文社会科学部：藤原 愛衣  
石川 涼太  
手倉森 海  
千葉しずく

理工学部：小室祐人  
岡田修平  
澤田拓真  
教育学部：渡辺早紀

## プロジェクトの概要

【テーマ】震災や防災に対する教訓を学び直す→次の災害に対する予防意識を高める  
→自分の命を守ることにについて考える機会をつくる

### ①立ち上げの経緯

…東日本大震災の被災地域の大学に通い、被災した世代である私たちには、震災の教訓を引き継ぎ、先頭に立って防災活動を広めていくことが求められていると思った

### ②陸前高田市防災マイスター講座

防災マイスター 武蔵野美和さん @陸前高田グローバルキャンパス, 2019. 7. 14

- 内容
- ・ワークショップ案についてご意見をもらう
  - ・普段から使える防災グッズについて学ぶ
  - ・パラコードアクセサリーの作成方法を知る
  - ・「自己理解→自分に必要なものを明らかにする→自分で準備する」を学ぶ

### ③今年度の目標

- ・防災企画班メンバーが防災について学ぶ
- ・大学生などの若者が防災について考える機会をつくる
- ・防災対策の日常化の提案（0次防災）

ワークショップ

ポスター

## 10月 ワークショップ

【ワークショップ名】「防災しよう！！～非常時にかばんの中身は役立つか！？～」

【対象】盛岡市内の大学生

【目的】

- ・大学生に今災害が起きたらどうなるかを考えてもらう
- ・身近なものが災害時に役立つことを知ってもらう
- ・災害時に役立つアクセサリー（パラコード）の作成を実際に体験してもらう
- ・運営をする大学生自身も防災について考え、学ぶ



第1部：

防災しよう！！

～非常時にかばんの中身は役立つか！？～

普段持ち歩いているもので災害時に役立つものはないか、一見役立ちそうにないようなものをどのようにして役立てられるようにするかを参加者主体で考えてもらい、それを共有し合う。

その中で作成したワークシートを、日々携帯してもらうことで災害時に役立てられるようにする。



第2部：

パラコードを作ってみよう！

普段もアクセサリーとして持ち歩けるパラコードの作成をしてもらい、「0次防災」の大切さやその方法を学んでもらう。



## 7～11月 ポスター

【対象】岩手大学 学生（学内に掲示&Twitterで発信）

【目的】「学生が防災について考え、学ぶきっかけ作りが必要！」

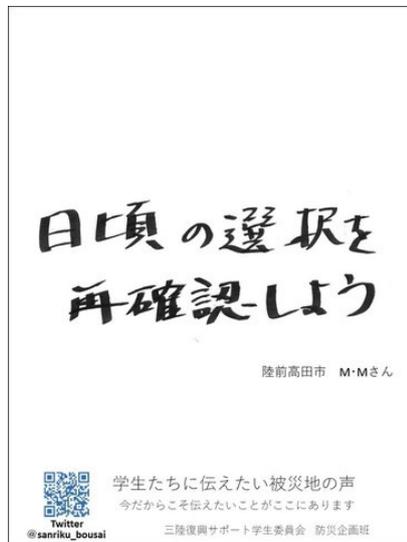
- ・一人暮らしの多い岩手大学生が、今現在の自分の身を自分で守れるようにしてもらおう。
- ・沿岸へ行く機会が多くなる際に備えて、沿岸地域の防災の知識について身につけてもらう。
- ・被災者の方の被災経験や自然の脅威から、自分たちができること(防災など)を考える機会を作ってもらおう。



「大切な命は自分で守る」

陸前高田市 武蔵さん

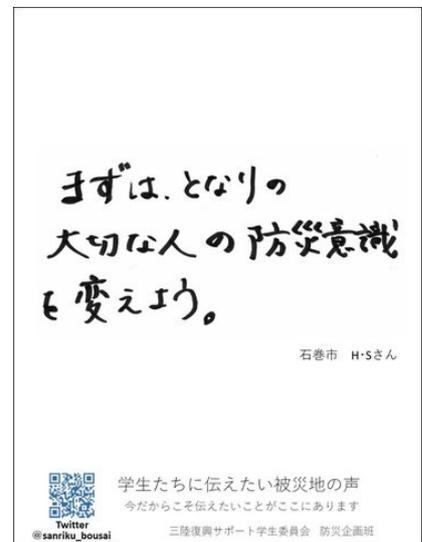
自分の命は誰かが守ってくれるのだと、人任せにしてはいけません。自分の命を守ることで、自分にとって大切な人の命や、周りの人の命も守ることができる。自分の命を守るための備えに、無駄なことなど一つもないのだ。



「日頃の選択を  
再確認しよう」

陸前高田市 武蔵野さん

災害はごく平凡な日常の中、突然襲ってくる。だからこそ、自分の生活の中で様々なもしもの状況をイメージしないと、いざというときの判断が遅くなってしまう。自分の命を守るために、大切な人の命を守るために、自分の日頃の生活や選択をもう一度振り返ってみませんか？



「まずは、となりの  
大切な人の防災意識を  
変えよう」

石巻市 畑山さん

自分の命は誰かが守ってくれるのだと、人任せにしてはいけません。自分の命を守ることで、自分にとって大切な人の命や、周りの人の命も守ることができる。自分の命を守るための備えに、無駄なことなど一つもないのだ。

## 今後について

2020年度も委員中心に活動を行っていく予定。  
東日本大震災の教訓、学生の防災対策、防災の日常化、子どもたちや学生への伝承などさまざまなテーマを考えながら、今後の方針を検討中。  
一緒に活動したい仲間をお待ちしています。

